

『鄰家好漁』

コロナ防疫による地方社会的弱者支援コンテスト

一、活動目的

国立高雄科技大学は教育部の大学社会責任実践USR計画を実施し、長い間地域のコミュニティや産業問題に関心を持っている。「鄰家好漁形塑計画」は台湾の養殖業を問題の出発点とし、大学の水産養殖、食品化学、工学設計、マーケティング管理など諸学科の専門能力を合わせ社会貢献の成果をあげてきた。例えば、プロバイオティクス養殖による薬品使用の減少、モニタリング技術による養殖環境の改善、安心安全で健康的な魚や蝦養殖に尽力してきた。又、食品化学開発によって水産物の付加価値を上げ、クリック・アンド・モルタルマーケティングを持ち込み養殖業者の収入増加を実現させている。このように、幾年もの協力体制を通じて、国立高雄科技大学は養殖業に顕著な成果を上げている。

台湾の社会発展は都市化に歩みつつあり、地方特に農林水産業が集中している地方では人口老化や産業没落の危機を抱えている。政府は民国108年から地方創生を推進し、地方の特色産業を全力でサポートし人材確保と人口回流を目的としている。しかし、台湾の養殖業、漁業に関わる仕事環境の厳しさと生産販売の不均衡性が常に存在し、その上、収入の不安定性が高いため、若い世代を地方に引き付け発展させる事が困難を極める。地方の高齢化結果も相まって、放置される人口養殖池は増加するばかりで、養殖業の発展に多大な影響をもたらすだけではなく、漁村イメージも悪化させている。高雄科技大学は『鄰家好漁』計画を通じて、養殖、食品化学、工学設計、マーケティングなどの専門分野で協力し合い、実践的な人材育成を行ってきた。更には、実践的な『鄰家好漁』ネットショップを立ち上げ、漁業者の事業支援を直接的に行っている。

日本には、社会に貢献し人材を地方に誘引し地方創生を実現するため、納税者が指定した街に税金をフィードバックできる「地方税」という概念がある。『鄰家好漁』ネットショップはその地方税の概念を取り入れ、オンライン上に各県ごとの慈善基金を設立した。『鄰家好漁』ネットショップを通じて購入した水産物は一定の比率で基金を消費者が指定した県にフィードバックするようになっている。消費者はフィードバック金をどの県に指定するか選

択でき、漁業者は消費者に購入商品を送付する。『鄰家好漁』の理念に賛同するスポンサー（例：緑能カンパニー、CSR理念を持つ会社）は、本コンテストの賞金及び地方の社会的弱者を支援する優れたプラン実施の資金を提供する。『鄰家好漁』ネットショップで得られた慈善基金とスポンサー資金が、学生が地方で社会的弱者支援を行う実施資金となる。

高雄科技大学は全国最大の科技大学として、学術的な貢献だけでなく、全校教師学生並びに卒業生学友会とともに、特色ある産業イノベーション、地方創生、大学の社会責任として、社会発展に尽力することを厭わない。ネットショップを通じて累積した公益基金を用いて行うコンテストに、高雄科技大学並びに台湾全国大学・技職系大学大学生、日本の諸大学に在学する学生達から、創意工夫に溢れた実践可能な地方創生案の提案が多く見られることを心より期待する。台湾と日本の学生交流コンテストを通じて、国際視野を持った実践的な解決案の提出を大いに期待する。

二、コンテスト内容

コンテスト参加者資格：

- 台湾全大学・技職系大学並びに日本の諸大学に在学する学生。
- 一チームあたりの参加学生は3-6人。
- チームメンバーに大学、学科、学部、学年等全制約なし。
- 指導教師として大学教師1人以上のチーム参加が必須。
- 同一学生の複数チームの重複参加は不可。
- 台湾組と日本組に分けて審査する。

（一）人気ビデオ賞

1. 三分間(180秒)以内のビデオを撮影し、問題解決を行う地方の紹介、関心を持つ問題、初歩の問題解決方向、メンバー紹介。
2. ビデオをYoutubeにアップロードし、連結アドレスを主催側に送付。
3. 主催側が全てのビデオリンクを整理し、プラットフォーム(鄰家好漁-社会弱者支援プラットフォーム)で一般開示し、ビデオの人気投票を行う。より票数の得られたYoutubeに、人気賞及び賞金を与える。

(二) 地方の問題リサーチと実践記録

1. コンテストに参加したチームはFBファンページを設立すること。ファンページの名前：鄰家好漁關懷偏鄉-チーム名（例えば：鄰家好漁關懷偏鄉-高科大きらきら星）。最低30回記録データをアップすること。地方での活動、問題リサーチ、地域交流…等々。
2. FBの「良いね」人数と交流数、発表内容等を、台湾と日本に分け専門家による審査を行い、FB記録賞を選出し、賞金を与える。

(三) 提案競技と実践支援基金の詳細

1. 地方の問題に対して、独創的な解決方法並びに構想の提出。実作作品かレポート発表（PPT）を用いて説明を行い、一組に持ち時間6分間、発表後の質疑に対して4分間の応答時間を有する。
2. コンテストジャッジ項目：
 - (1) 問題の重要性20%
 - (2) 問題解決の独創性と実践性40%
 - (3) 実践支援金の用途予算振り分けと実践段取り30%
 - (4) 発表全体における姿勢や表現10%
3. コンテストは台湾組と日本組とに分けて行う。台湾組は前三位に、日本組は一位に、賞金1万台湾ドルと支援活動費として10万台湾ドルを与え、実際の地方創生活動費に充ててもらう。

(四) 地方創生の支援実行

1. 賞を得たチームは協賛スポンサーとスポンサー契約を結ばなければいけない。規定された一定期間内に提案した地方創生支援を行わなければならない。入賞したチームが実際地方創生支援を行えば、実践賞金として順に2.5万台湾ドル・2万台湾ドル・1万台湾ドルか0.5万台湾ドルを与える。

二、コンテスト日程

(一) コンテスト募集締め切り

本コンテストは、コンテスト内容の公表日から受付開始。

応募締め切り：2021年10月15日(金)台湾時間17:00止。

添付ファイル(ファイル1)に御記入の上、申請書を主催側に送信すること。

(二) 人気ビデオ賞競技日程

即日から2021年10月15日(金)台湾時間17:00までに、Youtubeにビデオをアップし、リンクを主催側に送信すること。

ネット投票：

主催側が投票プラットフォームを設置。

投票期間：

2021年10月16日(土)～2021年10月29日(金)台湾時間17:00止

2021年10月31日(日)に人気賞公表。最多グッドボタンを得た前三位に賞を与える。

(三) 地方の問題のリサーチと実践記録

各参加チームは、2021年10月29日(金)台湾時間17:00までにFBファンページ(鄰家好漁關懷-**チーム名**)の設立をすること。また、2021年11月19日(金)までに30回、問題提起地方での活動・問題リサーチ・支援実践…等に関わる記録をFBにアップすること。専門家による審査を経て2021年11月19日(金)に台湾組前三チーム、日本組一チーム、FB記録賞を公表する。

(四) 提案コンテスト時程

提案コンテスト日程：2021年11月26日（金）

場所：国立高雄科技大学（海洋キャンパス）国際會議廳

詳細は追って11月19日（金）前発表する。

☆日本組入選者はオンライン発表形式をとる。

（五）支援案実践期間

協賛を得たチームは、2021年12月1日（水）から2022年1月14日（金）までの期間内、提案した地方創生支援を実行すること。また、国立高雄科技大学において2022年1月21日（金）『鄰家好漁關懷偏鄉』成果発表会を行う。

☆日本組入選者はオンライン発表形式をとる。

三、コンテスト日程

本コンテストの日程表は以下をご参照ください。

表1 コンテスト日程表

項目	時間
コンテスト応募 ビデオリンク提出	2021年10月15日（金）台湾時間17:00まで 2021年10月15日（金）台湾時間17:00までアップ
人気ビデオ賞	2021年10月16日（土）から投票開始 2021年10月29日（金）台湾時間17:00投票終了 2021年10月31日（月）人気賞発表
FB記録賞	2021年10月29日（金）台湾時間17:00までにFBファン ページの設立完了 2021年11月19日（金）までに30編の記録をアップ 2021年11月19日（金）FB記録賞発表
提案コンテスト	2021年11月19日（金）コンテスト実施詳細発表 2021年11月26日（金）コンテスト発表会
提案支援の実行	2021年12月1日（三）2022年1月14日（金）実行期間 2022年1月21日（金）『鄰家好漁關懷偏鄉』成果発表会

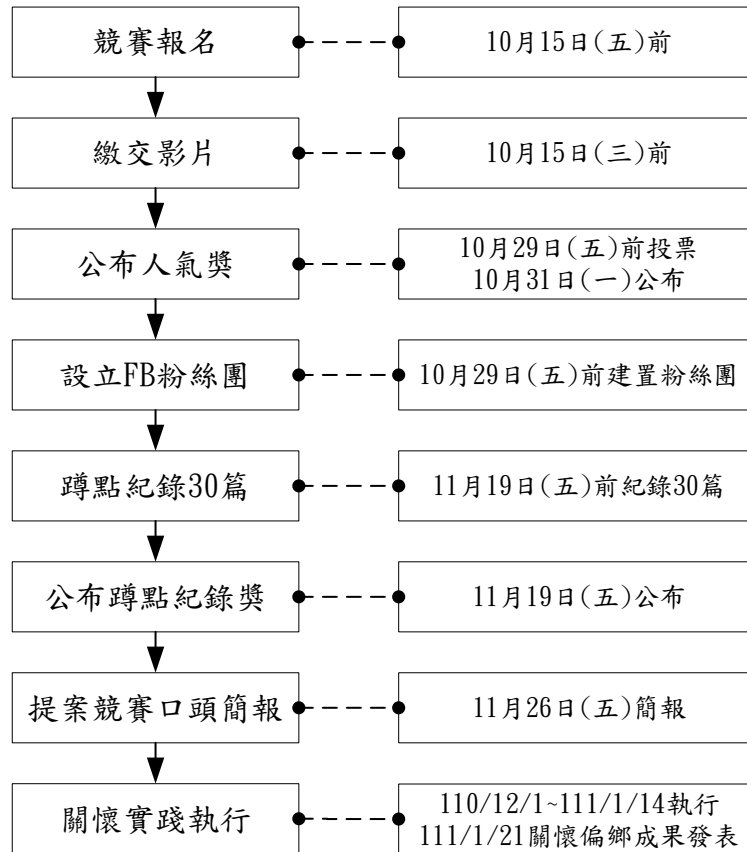


図1 コンテスト日程図

四、コンテスト賞金

(一) 人気ビデオ賞

台湾組はビデオの投票人数で一、二、三位を決め、それぞれ台湾ドル5千、3千、2千の賞金を贈呈。このほかに優秀作品を選び佳作として賞状を贈呈。日本組からは一チームを選出し、賞金5千台湾ドルを贈呈。

(二) FB記録賞

専門家によりFBにアップされた30編以上の記録文で、台湾組三位までを選出し、それぞれ台湾ドル5千、3千、2千の賞金を贈呈する。このほかに優秀作品を選び佳作として賞状を贈呈。日本組からは一チームを選出し、賞金5千台湾ドルを贈呈。

(三) 提案コンテスト

各組が提案を発表し、専門家による審査を行う。台湾組から三チームを選出、入選者

に賞状並びに賞金それぞれに1万台湾ドルを贈呈、地方創生支援実践金として10万台湾ドルを与える(詳細は大会後)。日本組からは一チーム選出、賞金1万台湾ドルの贈与と地方創生支援実践金10万台湾ドルを与える。支援金を受け取ったチームは必ず提案した地方創生支援を行うこと。

(四) 支援の実行

ネットショップで累積した基金とスポンサーが提供する支援実践基金を入賞したチームにそれぞれ10万台湾ドルを与える。実際地方創生支援を行った後、それぞれのチームにまた賞金2.5万、2万、1万、0.5万台湾ドルを与える。

五、支援実践基金

地方創生支援を実際行う際、ネットショップ基金とスポンサー協賛金を用い、最高10万台湾ドル支給。支援実践金は必ず地方創生支援に使用すること。レシートで以て支給を行う。

六、注意事項

- (一) コンテスト参加作品は全て学生による自作であること。規則が破られている場合参加資格を剥奪する。
- (二) コンテストに提出した全ての作品や内容に、他者への如何なる侵害をも犯していないこと。万が一、他者への侵害が認められた場合、参加者が全責任を負うとともに、コンテストにおける如何なる資格をも剥奪し、且つ、速やかに賞金等の返却を行うこと。
- (三) コンテストに提出した作品に他者からの引用、著作権に関わる如何なる事由について、詳細の記載すること。
- (四) 本コンテストに提出した内容成果等の著作権はチームが所有するものとなるが、主催側にその使用权を無償で提供し、並びに主催側の変更要請等にも協力すること。
- (五) 主催側は本コンテストに関わる全チームの内容成果を無償且つ無期限に使用权を所有する。

(六) 応募作品が求めるレベルに達しない場合、「欠」と評する場合もある。最終決定権は審査員に委ねる。

(七) その他記載漏れ等があった場合、主催側が公開したコンテスト情報に則る。また、主催側は本コンテストの最終改定解釈権限を持つ。

(八) 主催者対外連絡先：

連絡者：陳雅玲

電話：(07)3617141#23135

e-mail：nkustusrfvc@nkust.edu.tw